

資料 4

教育・体験・文化

札内川懇談会（第2回資料 平成24年6月7日）

・ 札内川に関する自然、歴史、文化に関する情報の共有（文献リスト）

→事務局より情報提供

- ・ 利用促進する上で、川のどこが危険か情報を伝えていく必要がある
- ・ 「ゴミゼロナビゲーション」等、イベントで集まった人々にゴミの持ち帰りを啓発する活動も有効ではないか
- ・ 川のゴミは大人の残したゴミが多い。まずは、子どもを教育し、親に伝えていく必要があるのではないか
- ・ ゴミが近年多くなったと感じている
- ・ ゴミの問題は、人を教育することにつきる
- ・ 若い人たちを引き込んで、川に関心をもってもらうことが大切
- ・ 川とのふれあい、川を大切にす文化を次の世代に伝えていくことが大切
- ・ ヤマメを放流する活動（イベント）は、親子が集まって大変良い

→論点

環境教育、体験活動、親子による体験の場

- ◆「クリーンウォークとかちin札内川」には毎年多くの人参加（平成23年は約740名参加）
- ◆「ピョウタンの滝やまべ放流祭」や「サケの稚魚放流祭」など、歴史のある祭りも多い。



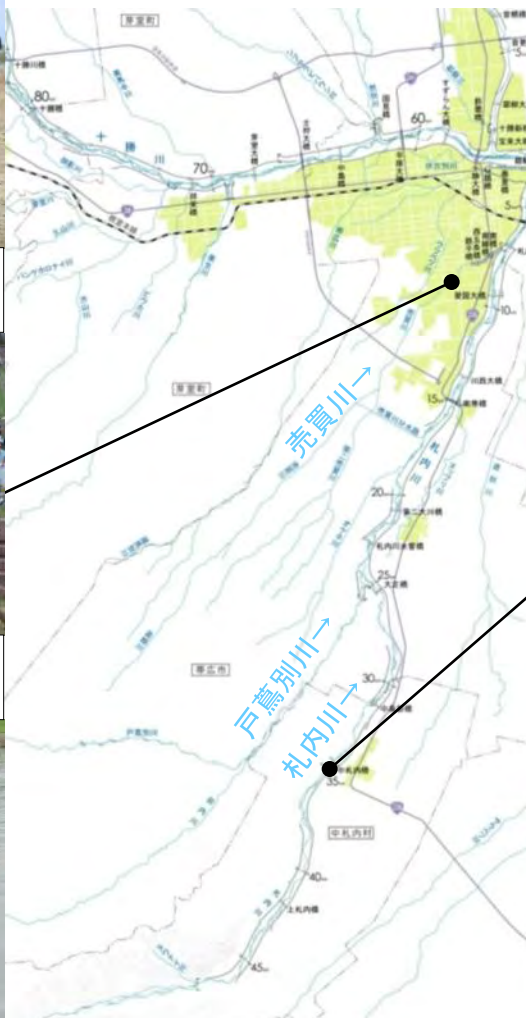
クリーンウォークとかちin札内川（H23年に第11回、約740名参加）
主催：クリーンウォークとかち実行委員会



サケの稚魚放流祭（売買川、H23年に第26回）
主催：とかち帯広サケの会



もっと川で遊び隊・学び隊（H19年の開催状況）
主催：帯広NP028サポートセンター



※写真出典：中札内メールHP
<http://www.tokachimail.com/nakasatsunai/bac>



札内川カヌーレース（H18年）
主催：中札内村観光協会



川下り※（H22年）
主催：中札内村観光協会



ピョウタンの滝やまべ放流祭
（H23年に第40回）
主催：中札内村観光協会

環境教育、体験活動、親子による体験の場

◆ 札内川では、近年は年間5～7回の水生生物調査や水質調査等を実施し、毎年300名～500名近くの小学生等が参加している。

平成21年度の実施状況【6回、計358名参加】

No.	学校名	実施日	実施場所	参加者数
1	幕別町立古舞小学校	7月3日	南帯橋下流	11
2	幕別町立札内北小学校	7月8日	札内橋下流	71
3	帯広市立柏小学校(5年)	8月24日	札内橋下流	80
4	帯広市立柏小学校(4年)	9月14日	札内橋下流	78
5	帯広市立光南小学校	9月15日	光南水辺の楽校	60
6	幕別町立白人小学校	9月30日	札内橋下流	58
合 計				358



平成22年度の実施状況【7回、計483名参加】

No.	学校名	実施日	実施場所	参加者数
1	帯広市立明星小学校(5年)	7月6日	売買川合流点	62
2	帯広市立明星小学校(4年)	7月7日	売買川合流点	72
3	幕別町立札内南小学校	8月20日	札内橋下流	79
4	帯広市立柏小学校	8月27日	札内橋下流	64
5	幕別町立白人小学校	9月1日	札内橋下流	48
6	帯広市立豊成小学校	9月14日	売買川合流点	86
7	幕別町立札内北小学校	9月15日	札内橋下流	72
合 計				483



水生生物調査等の実施位置

平成23年度の実施状況【5回、計299名参加】

No.	学校名	実施日	実施場所	参加者数
1	帯広市立豊成小学校	6月29日	売買川合流点上流	84
2	帯広市立広野小学校	7月12日	第二大川橋上流	37
3	幕別町立札内南小学校	9月13日	札内橋下流	78
4	幕別町立白人小学校	9月12日	札内橋下流	51
5	幕別町立幕別小学校	9月15日	札内橋下流	49
合 計				299



水生生物の採取



水生生物の観察

平成23年度の実施状況(札内川 第二大川橋上流)

環境教育、体験活動、親子による体験の場

◆ 札内川と十勝川合流点にある『エールセンター十勝』は、「子どもの水辺」の拠点として北海道で唯一設立され、情報提供、人材派遣、資材貸し出し等の支援を行なっている。



小学生による観察会
(札内川大正地区)



木陰の提供
(札内川光南地区)



近隣保育園による利用
(札内川光南地区)



レスキュー指導

「子どもの水辺」活動状況

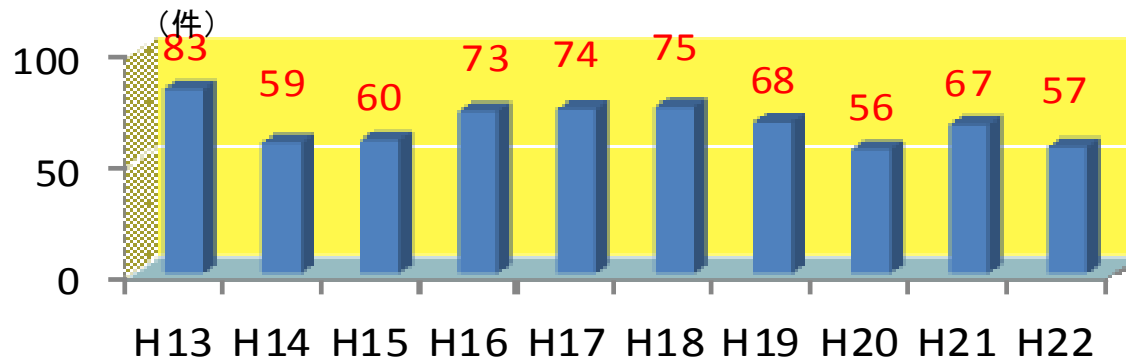
危険箇所情報の周知

◆平成23年9月～帯広市内の札内川で、中学生5人が丸太に乗って遊んでいたところ、中学2年の男子生徒が流され死亡

◆平成24年5月～幕別町内の途別川で、付近で遊んでいた男児（5才）が流され死亡

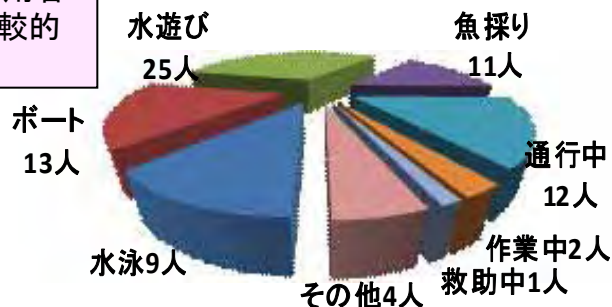
北海道内の水難事故発生状況

【水難事故発生件数（過去10年）】



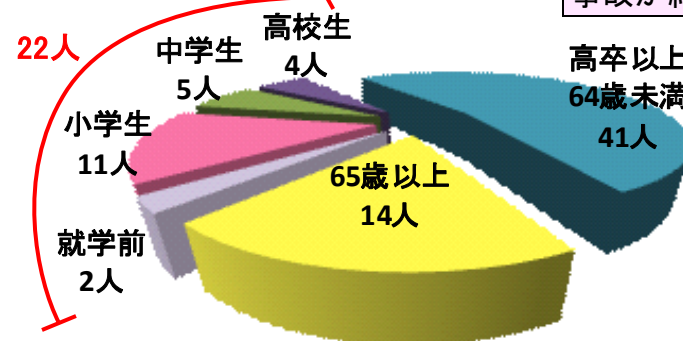
【水難者行為別人数】

水遊び、ボート利用者の水難事故が比較的多い



【水難者年齢別人数】

就学前～高校生までの事故が約3割を占める



※出典：北海道版警察白書「北斗の安全」平成23年版

http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/statis/hokuto_anzen2011/hokuto_anzen2011.html

ゴミの持ち帰り啓発活動

- ◆十勝川、札内川、音更川等の河川敷地へのゴミ不法投棄量は、北海道内で一番多い。
- ◆廃プラスチック類、木くず等が、草むらや橋脚の陰などに不法投棄されている場合が多い。

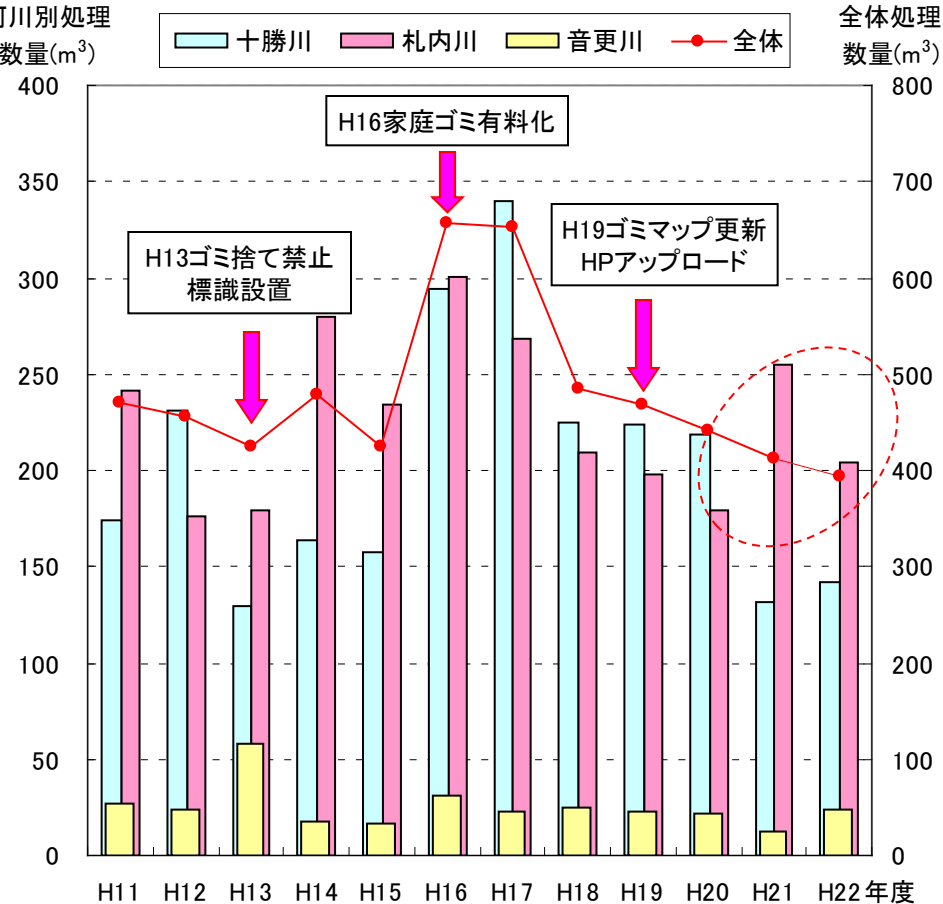
河川別の平成21年の塵芥処理量

流域	主河川名	主要都市・人口(千人) (人口はH22年7月末時点)	H21塵芥 処理量 (m ³)	人口千人 当たり塵芥 処理量 (m ³ /千人)
石狩川 ほか	石狩川・豊平川	札幌市	1,909.7	322
	石狩川・忠別川	旭川市	353.2	126
	天塩川・名寄川	名寄市・士別市	53.2	64
釧路川 ほか	釧路川	釧路市	190.5	4
	網走川・常呂川	網走市・美幌町	61.3	54
十勝川	十勝川・札内川・ 音更川	帯広市・音更町	213.5	412
	十勝川・利別川	池田町・広尾町	15.9	2

ゴミ不法投棄の状況（橋脚の陰など見つけにくい場所への投棄が多い）

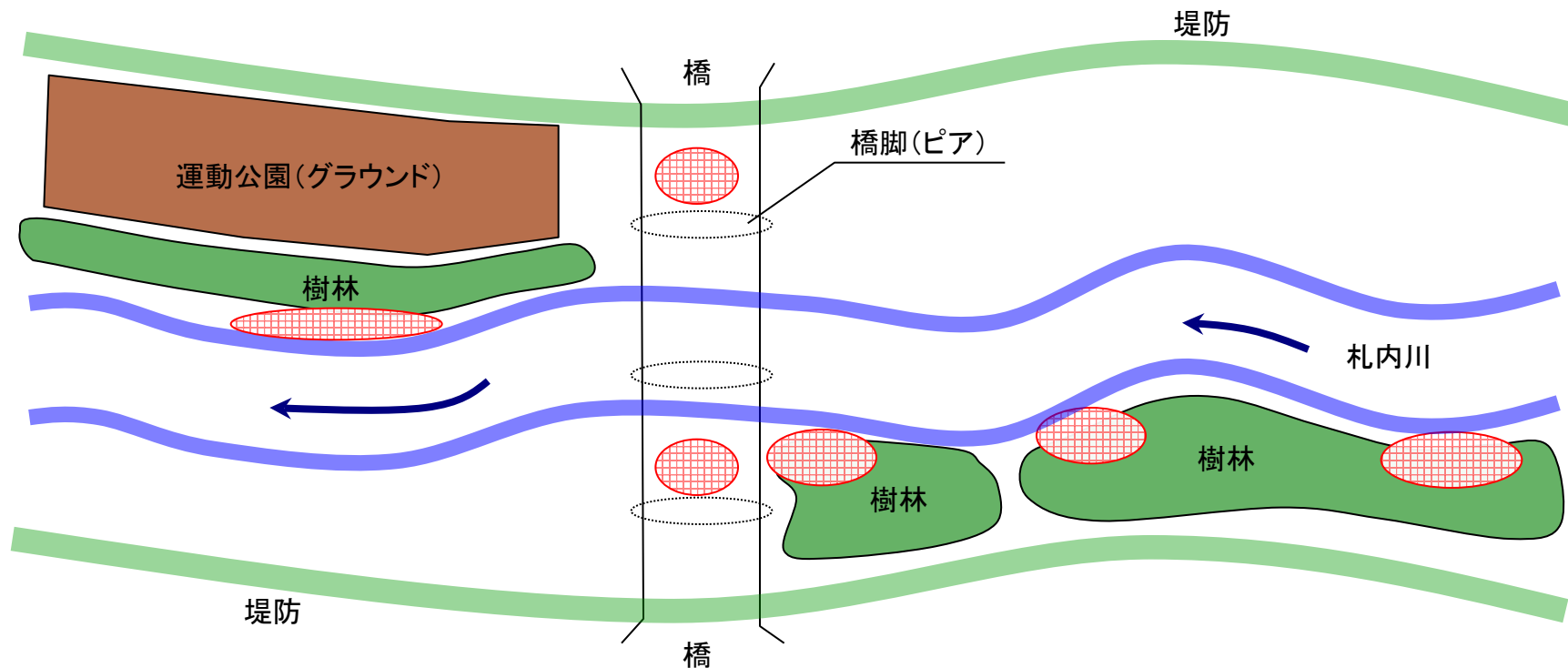


河川別処理
数量(m³)



平成11～22年の帯広河川事務所管内の塵芥処理数量

ゴミ不法投棄が多い場所（イメージ）



● ゴミ不法投棄が多い場所

- 橋梁の下、特に橋脚(ピア)の裏
- 樹木の中
- 人が入りやすい公園に隠れた樹木の裏

札内川でゴミ不法投棄が特に多い場所



○ ゴミ不法投棄が特に多い場所

※ここだけではなく、全域にわたってゴミの不法投棄は後を絶たない

ゴミの持ち帰り啓発活動

◆ゴミ捨て禁止の標識（看板）設置、不法投棄防止啓発等を行うことにより、ゴミの量は若干減少しているが、効果は決定的とはいえない状況。

【不法投棄の状況・特徴を考慮した上での具体的な対策】

近年において河川事務所で実施した内容は次の通りである。



写真-1



写真-2



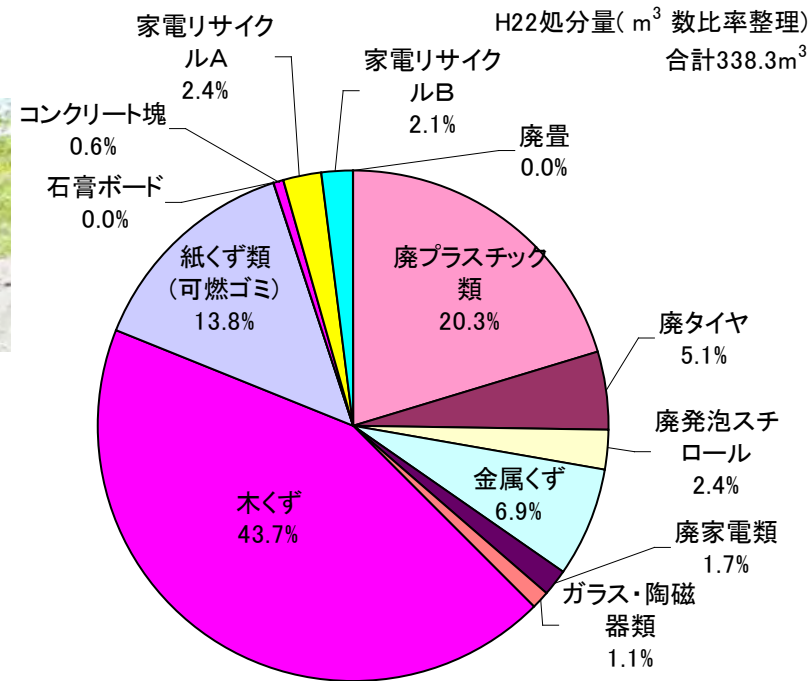
写真-3



写真-4



写真-5



年次	内容	効果
H13	ゴミ捨て禁止標識(看板)設置 × 17箇所	不法投棄の多い場所へ設置。H13年度のゴミ集計量は若干減ったが、次年度からほぼ例年通りとなる。(写真-1・2)
H16	鳥居設置	関東地整の成功例にならい数カ所設置。当初は効果があったが継続はしなかった。(写真-3)
H19	ゴミマップ更新・HPへアップ	ゴミの量は前年度から若干減少しているが、効果について決定的とはいえない。
H20	ラジオ番組やイベントを利用した不法投棄防止啓発	ゴミの量は前年度から若干減少しているが、効果について決定的とはいえない。
H21	クリーンウォーク(ボランティア活動)時に新聞広報とゴミ捨て禁止看板設置	ゴミの量は前年度から若干減少しているが、効果について決定的とはいえない。(写真-4・5)

河川巡視は毎年実施・街頭での河川啓発(パンフレット等の配布)はH18まで実施